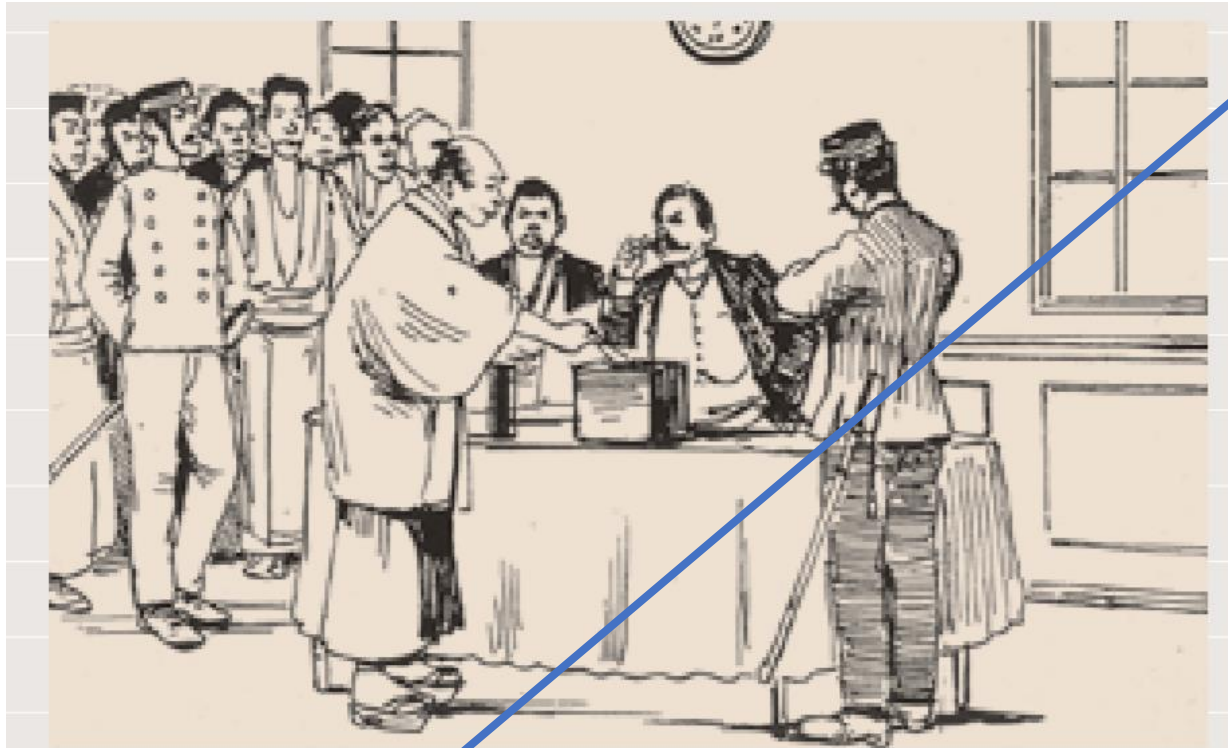


衆議院議員選挙の様子



② 衆議院議員選挙の風刺画(ビゴ-筆) いかめしい顔の役人けいさつかんや警察官かんしが監視するなかで投票しています。

貴族院⇒皇族や華族や天皇から任命された人

衆議院⇒国民が選挙で選んだ人

選挙できたのは

満25歳以上の男子で
直接国税を15円以上納めている者



条件を満たして選挙できたのは
全人口の1.1%に過ぎなかった

一部の国民の意見しか反映されていないことになるね

第一回の**帝国議会**

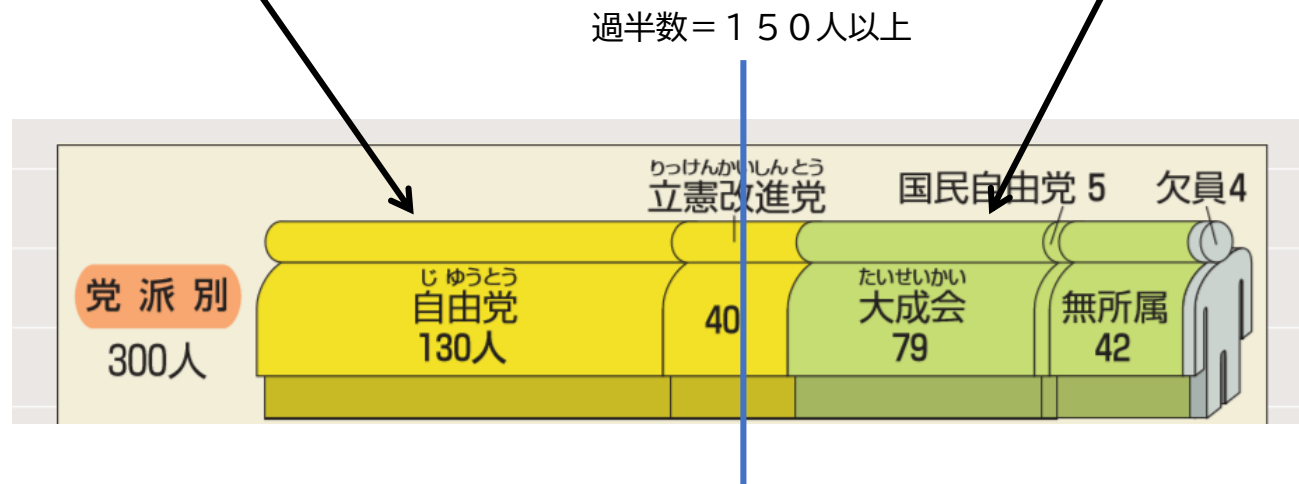
衆議院議員の総選挙の後
1890年に**帝国議会**が
開かれました



第一回帝国議会の衆議院の構成

黄色が自由民権運動派（自由党・立憲改進黨）の当選人数

緑色が政府側の当選人数



過半数が自由民権派の人々が当選していたにもかかわらず、その人たちの中から総理大臣などは選ばれず、実際の内閣（政府）は天皇に任命された薩摩藩・長州藩などの出身者がほとんどを占めていました



このような内閣を**藩閥政府**という

藩閥政府 (はんばつせいふ)

| | いとう 伊藤 内閣 | くろだ 黒田 内閣 | やまがた 山県 内閣 | まつかた 松方 内閣 | |
|--------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| 総理大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| 外務大臣 | | | | | ちようしゆう 長州 |
| 内務大臣 | | | | | とさ 土佐 |
| おおくら 大蔵大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| 陸軍大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| 海軍大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| 司法大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| ちんぶ 文部大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| 農商務大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| ていしん 逓信大臣 | | | | | さつま 薩摩 |
| | | | | | その他 |

内閣のメンバーのほとんどが薩摩藩・長州藩などの出身者であることがわかるね

4 1885~1892年の内閣の閣僚出身藩 かくりよう

不平等な条約の内容

- ①法を犯した外国人はその国の領事（その国の窓口になる人）
• が裁くので日本に裁判する権利がない

つまり

領事は法を犯した自国の外国人の罪を軽くすることもできてしまう

外国に^{りょうじ}領事裁判権^{さいばんけん}（^{ちがいほうけん}治外法権）がある

- ②輸入品に自由に関税をかける権利が日本にない

つまり

日本に^{かんぜいじしゅけん}関税自主権がない

鹿鳴館 (ろくめいかん)



政府は鹿鳴館という西洋風の建物で舞踏会を開き、欧米と同じように発展した国になってきていることをアピールした。このような政策を**欧化政策**という。



欧米には認めてもらえず、条約改正には応じてもらえなかった

⑦ 鹿鳴館の舞踏会のようす (貴顕舞踏之図)
兵庫県 神戸市立博物館蔵

ノルマントン号事件



⑥ ノルマントン号事件(和歌山市立博物館蔵) 1886年、和歌山県沖でイギリス船が沈み、イギリス人船長と船員はボートで脱出しましたが、日本人乗客25人が全員おぼれて亡くなる事件が起こりました。ところが、神戸のイギリス領事によって船長ら全員に無罪判決が出ました。日本国内で抗議の声が高まり、横浜で行われた領事裁判で船長が有罪となりました。

※ ノルマントン号とはイギリス船の名前

船などが沈没したら船長は真っ先に乗客を救うのが当たり前なのに乗客を助けずに逃げ出した船長や船員が無罪なんておかしい。有罪になったとしても罪が軽すぎる。という抗議の声が日本国内で高まった。





そんなことが起こるのも法を犯した外国人を対して日本に裁判する権利がない。つまり、**外国に領事裁判権（治外法権）があるからだ！**



この事件をきっかけにさらに不平等条約撤廃の声が高まった

条約改正の主なあゆみ

| 年 | |
|----------|---|
| 条約改正のあゆみ | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>一八五八 米・蘭・露・英・仏と不平等条約調印</p> <p>一八七二 岩倉使節団が欧米諸国と交渉</p> <p>一八八二 井上馨外相が交渉</p> <p>一八八八 大隈重信外相が交渉</p> <p>一八九九 外国人裁判官の任用に国民が反対</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>一八九四 陸奥宗光外相が交渉</p> <p>イギリスと治外法権の撤廃に成功</p>  </div> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>一九一 小村寿太郎外相が交渉</p> <p>アメリカと関税自主権の回復に成功</p>  </div> </div> |
| 内政・外交 | <ul style="list-style-type: none"> ▲1883年 鹿鳴館完成 ▲1886年 ノルマントン号事件 ▲1889年 大日本帝国憲法発布 ▲1894年 日清戦争 ▲1904年 日露戦争 |

1894年 **陸奥宗光**（むつむねみつ）外務大臣がイギリスとの間に**領事裁判権（治外法権）の撤廃**に成功

1911年 **小村寿太郎**（こむらじゅたろう）外務大臣がイギリスとの間に**関税自主権の回復**に成功

ノルマン号事件から8年後の1894年にようやくイギリスが条約改正に応じたのをきっかけに不平等条約が改正されていった